

長年の功績に深く感謝し敬意を表します 平成20年度大館市功労者



岩 渕 吉三郎氏
(大巻・78歳)

昭和60年9月から平成17年6月まで田代町議会議員。合併後は平成19年4月まで大館市議会議員として通算21年余り地方自治の進展に尽力されました。この間、平成11年2月から2年半、田代町議会議長を務められたほか、田代町農業委員、田代町社会福祉協議会副会長などを歴任。昭和59年から田代町土地改良区役員(平成8年から理事長)を務め、自らの豊富な農業経験を生かし、事業の推進及び農業の生産性向上に大きく貢献されました。



小 倉 健 治氏
(比内丁・79歳)

バラの栽培歴60年という希代の庭師であり、近隣の愛好家を育成支援されました。一方、名誉市民 故石田博英氏のコレクションとして著名であったバラ園の管理を一身に担い、ついに600種700本のバラが咲き誇る現在の石田ローズガーデンを結実させ、その名が全国に知れ渡るほどの観光スポットになりました。

これは、卓越した経験と技術、そしてバラへの愛情の深さのたまものであり、本市の新たな魅力を創生した実績は比肩するものがありません。



佐 藤 忠 信氏
(有浦3丁目・73歳)

平成8年4月、第5代目大館市教育長に就任。小中学校での豊富な教員経験と北教育事務所での行政経験を生かし、6年余りにわたり大館市の教育の向上充実に貢献されました。

また、平成14年6月には第13代目の助役に選任され、その後5年間、市長を補佐し、行政の先導者として市政を支えました。

特に、平成17年6月の旧比内町・旧田代町との市町合併では、合併協議会幹事長として各種事務事業のすり合わせに奔走され、合併事業の成功に大きな功績がありました。



福 原 春 枝氏
(金坂・77歳)

昭和41年大館八幡幼稚園副園長に就任以来、42年の長きにわたり、市の幼児教育に尽力されました。

全国に先駆けて教育の中にスキー遊びを採り入れたり、園児とともに野菜づくりに勤しみ、地域住民を招いて交流会を開催するなど独自の教育を展開されました。

また、園児を中心とした「幼年消防クラブ」を組織し、地域住民とともに防火活動の啓発を行うなど、私学教育に対する保護者からの厚い信頼を築き、その功績は顕著であります。



本 間 良 藏氏
(中野・77歳)

昭和43年、日本民謡協会民謡民舞秋季全国大会での3位入賞を機に、民謡教室を設立し、民謡を志す多くの後進の育成に力を注いでこられました。

また、市の様々な行事に参加し、イベントを盛りたてるとともに、民謡文化の振興・伝承に大きく貢献しました。一方、地域の民謡サークルの講師をボランティアで続けていたほか、大館市老壮大学では30年以上にわたり民謡クラブの講師を務められ、生涯学習の振興にも尽力されました。

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々表彰されました。